

「副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)」 検査内容変更案内/一部訂正のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて過日、下記項目については本年3月30日より検査内容を変更させていただくことをご案内させて頂きましたが(Information19-035a(本)※1)、一部記載内容に漏れがございました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り変更内容を追加させていただきます。

敬具

記

■対象項目/追加箇所

頁	項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧
37	6967	副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)	検査方法	ECLIA [ロシュ・ダイアグノスティックス]	CLEIA [DS ファーマ]
			基準値	14.9~56.9 pg/mL	8.3~38.7 pg/mL
			報告下限	5.5 pg/mL 未満	4.0 pg/mL 未満
			報告上限	100,000 pg/mL 以上	999,000 pg/mL 以上

※下線部分が変更内容の追加箇所です。

※新旧二法の相関は裏面をご確認下さい。

■変更期日

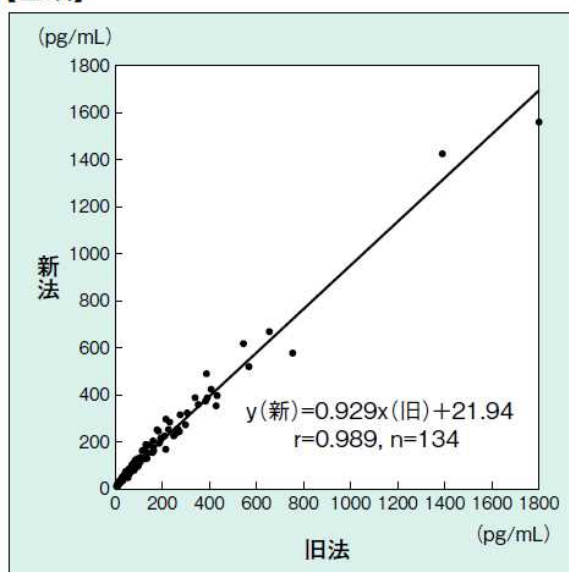
●2019年3月30日(土)受付日分より

副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)

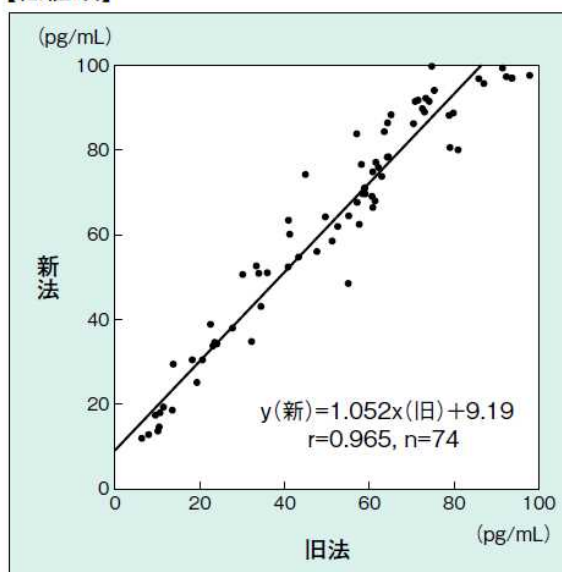
Whole-PTH の測定試薬を別のメーカーが販売する ECLIA 法試薬に変更致します。新旧二法の相関は良好ですが、基準値を測定試薬の添付文書記載値に変更致します。

■新旧二法の相関

【全域】



【低値域】



(LSIメディエンス検討データ)

■参考文献

吉野亜紀, 他: 埼臨技会誌 61(1):1-6, 2014.